

会 議 録

会議の名称		平成２８年度 第３回 守谷市環境審議会		
開催日時		平成２９年２月１７日（金） 開会：午後２時００分 閉会：午後３時４０分		
開催場所		守谷市 ３階 庁議室		
事務局（担当課）		生活経済部 生活環境課		
出席者	委 員	鈴木会長，清野副会長，青木委員，佐藤委員，高橋委員，宮本委員，篠委員 飯田委員，石津委員，稲川委員（代理），大同委員，古池委員，倉持委員 （１３名）		
	その他			
	事務局	松丸市長 坂部長，佐藤課長，鈴木係長，長塚係長，古谷係長（６名）		
公開・非公開 の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	なし
公開不可の場合 はその理由				
会 議 次 第		１．開会 ２．会長挨拶 ３．市長挨拶 ４．議題 協議事項 １）平成２９年度一般廃棄物処理実施計画（案）について 報告事項 １）平成２８年度公害実態調査について ２）守谷市役所の温室効果ガスの排出量について ３）グリーン購入の推進について ４）平成２８年度守谷市環境報告書の作成について ５．その他 １）第１７回利根川河川敷クリーン作戦の概要について ６．閉会		
確 定 年 月 日		会 議 録 署 名		
平成２９年３月１３日		会 長 鈴木 榮		

審 議 経 過

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 市長挨拶
4. 議題

議題に入る前に、五木田先生に替わって新委員となる飯田委員から挨拶あり。

協議事項

- 1) 平成29年度一般廃棄物処理実施計画（案）について

【事務局より説明】

鈴木会長：事務局から説明が終わりましたので、委員の皆様からご意見等がありましたら発言をお願いします。

高橋委員：資料1の15ページの生ごみ堆肥化についてですが、現在の実証実験の結果としてどの程度成果が上がったのかということがまず1点目、また、対象世帯の1戸あたりの費用はどの位かかっているのかということが2点目、そして、生ごみ堆肥化事業を行う際にトラック等で個別回収をしているのですが、一般ごみ（可燃ごみ）として回収処理を行った場合と比べてどの程度環境負荷の差が生じているのかということが3点目の質問になります。今後、実稼働を検討する場合にその辺りがきちんと検証される必要があると考えます。

事務局：具体的な検証方法等については、今後、常総環境センター内で協議検討がなされることになります。生ごみ堆肥化費用については、単純に参加世帯で割り返しを行いますと、1世帯当たり約10,500円となります。

稲川委員：常総環境センターから参りました代理の野口です。生ごみ堆肥化事業はNPOが収集処理を実施しています。以下、平成27年度の実績となりますが、守谷事業所で参加世帯が6,253世帯、うち守谷市での参加世帯が3,949世帯です。また、回収量が全体で742トン、うち守谷市分が483トンです。全体では、平成28年度末で約7,000世帯参加を見込んでおり、平成29年度目標は約7,600世帯を目指しています。

高橋委員：一般ごみとして回収処理を行う場合は1戸あたりの費用はどの

位かかっているのかわかりますか？

【市長が所用のため退出】

事務局： 手元に資料がありませんので、調べて後ほど回答いたします。

高橋委員： 私も、第3次ごみ処理施設基本計画の中で生ごみ堆肥化をやってほしいとお願いした立場であるので、質問させていただきました。最近マンションなどではディスポーザーが主流となり、生ごみが減っている中で、たい肥化を今後、実稼働させていくのが実状に合っているのかどうか？また、費用対効果面からの検討やサービスの不公平感をどのように払しょくしていくのかも考えなければならないと思います。また、NPOについても、仕事が独占的になってきている感があります。業者の選定についても透明性を持たせることが必要だと思います。

事務局： この取組は守谷市だけのことではありませんので、今後環境センターを中心とした広域の問題として、検証方法等について検討していきたいと思います。

篠委員： ごみ排出量の数字の中には含水量も入っているのでしょうか？

事務局： こちらの数値はごみを回収した量をそのまま集計しておりますので、水分を含んだものとなっています。

篠委員： その含水量によっては、キルン式の性能に何らかの関連があるのでしょうか？

事務局： 焼却する前に一旦ストックし、その間に水分が抜けていきますので、焼却時の含水量は少なくなっており、性能に影響が出るといことはありません。ただ当然ながら、ごみを排出する際にはきちんと水切りを行った上で出してもらうということが必要になります。

佐藤委員： 14ページの処理能力ですが、年間のキャパシティの表示があった方が分かりやすいと思いますがいかがですか？

事務局： この施設は4市で使っております、単純に守谷市分を表示することができないため、このような記載になっております。

佐藤委員： 人口増が見込まれ守谷市や取手市が構成市に入っているわけですが、将来の4市全体の人口イメージといったものはあるのでしょうか？

稲川委員： 1人1日当たりの排出量は平成28年度の目標値が、4市全体で家庭系705.3g、今年度前半は673.6gという実績になります。平成32年度の目標値は693gを設定してますので、さらなる減量の取組が必用となります。

飯田委員： いまのお話と資料21ページの1人1日当たりの排出量数値が違っているようですが？

事務局： 資料の数値は守谷市のみの数値となっていますので、その違いとなります。

鈴木会長： ごみ焼却炉の問題としては、これからのキャパシティについて心配される向きもありますので、今後公表できれば良いのかなと思います。

高橋委員： 常総広域の処理施設はキルン式という大変高性能な機械を導入しており、たいていのものは燃やすことができる性能を持つ反面、5種16分別という手間のかかる作業を住民にお願いしている結果、分別があまり進んでいないという状況もあると聞きますがその辺りについていかがお考えでしょうか？

事務局： なんでもかんでも燃やしてしまうというのでは、最終処分量が増える一方になります。最終処分場を自前で用意できない以上は、できるだけ分別をすすめて最終処分量を減らすことが大切だと考えています。

宮本委員： 資料4ページの「排出抑制のための方策」とありますが、行政の方でこれをしっかり周知して、市民のみなさんに守ってもらうという取組が大切だと考えます。

【平成29年度一般廃棄物処理実施計画（案）について決定】

報告事項

1) 平成28年度公害実態調査について

【事務局より説明】

高橋委員： 放射線に関しまして、いわゆる3.11以来、指定廃棄物である焼却灰（飛灰）が常総広域の敷地に残されているわけですが、そちらに関する報告はないのでしょうか？

事務局： 今回の報告は、守谷市が行った調査結果についてのものです。指定廃棄物に関する調査は常総広域で行っているものですので記載しておりません。

稲川委員： 放射能濃度が8,000ベクレルを超えるものについては、国の指定廃棄物として保管しております。現在環境省で調査を行っており、結果が出次第、茨城県内分を合わせて報告するという予定だと聞いております。

高橋委員： 市民が安心して暮らせるように、情報提供ができるような対応をお願いしたいと思います。

篠委員： 3ページにあります地下水放射性物質について、いわゆる3.11以降に数値がどう動いているのかがわかりますか？

事務局： 公園や学校等の調査は定期的に行っており、そちらについては、数値の変動がわかるのですが、地下水については、毎年調査箇所を変えていますし、また、そもそも検出されないレベルにとどまっているというのが現状です。

佐藤委員： ひがし野プロムナード水路に関しては汚泥に放射性物質が含まれており、立ち入り禁止という状況になっていますが、そういった場所について、今後新しい調査を始めることはできるのでしょうか。

事務局： 河川等の汚泥に含まれる放射性物質の対応に関しては、国からの明確な指示や基準が示されておりません。これは国が責任を持って取り組むべきものですから、国からの指導がない中で、市が独自に調査や処理を行うということは考えておりません。

鈴木会長： この問題については、現時点で受け皿がない状態ですから、国で引き続き取り組んでもらうしかないということですね。

事務局： ここで、先ほど生ごみ堆肥化にかかる説明の中で高橋議員からご質問のありました、守谷市にかかるごみ収集にかかる費用が、判明しましたのでご報告します。収集運搬 1 人当たり 2,894 円、処理 1 人あたり 2,410 円です。また世帯当たりは収集運搬 7,710 円、処理 6,421 円です。(生ごみ堆肥化分を除く環境センター搬入分のみ)

2) 守谷市役所の温室効果ガスの排出量について

3) グリーン購入の推進について

【事務局より説明】

質疑応答なし

4) 平成 28 年度守谷市環境報告書の作成について

【事務局より説明】

鈴木会長： 本日話題になった指定廃棄物や、プロムナード水路等についても、盛り込むかどうか検討してもよいのではないのでしょうか。

清野委員： この骨子案を見ると、内容がかなり多岐にわたっているようですから、ポイントを整理して見やすくするなど、事務の合理化を図ることが大切だと思います。また、自然環境については係数化できないものですので、報告方法をよく検討する必要があると思います。

鈴木会長： そういった点も踏まえて次回の会議で協議していくこととなるでしょうね。

5. その他

1) 第17回利根川河川敷クリーン作戦の概要について

【事務局より説明】

質疑応答なし

事務局： 次回の審議会は 7 月頃を予定しています。議題は守谷市環境報告書の内容についてということになりますので、よろしくお願いします。

6. 閉会